

事業番号	04 07 02	<b>事業改善シート（令和3年度実施事業分）</b> <input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検			
事業名	子ども・若者育成支援事業	部局	県民文化部	課・室	次世代サポート課
		実施期間	S28 ~	E-mail	jisedai@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	合計特殊出生率				
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進		5-5 子ども・若者が夢を持てる社会づくり		

## 1 現状と課題

目指す姿 これまでの取組	<b>【目指す姿】</b> 長野県の全ての子ども・若者が健やかに育つことができ、また支援を必要とする子ども・若者を支えることができる社会の実現を目指す。 <b>【これまでの取組】</b> 長野県将来世代応援県民会議への補助、信州子どもカフェへの支援、子ども・若者支援地域協議会の運営、発達障がい者サポーター養成講座の開催、通信制高校と提携する教育施設を利用する住民税非課税世帯の生徒への利用料助成など				
	令和2年度点検結果 (令和元年度実施事業分) 現状分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課 題</th> <th>今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>           ・発達障がい者の支援については、各年代を通して一貫した支援になることが必要だが、乳幼児期の当事者家族周辺の理解や世代、分野をまたぐ支援の引継ぎに課題がある。            ・信州子どもカフェは県下133か所（令和3年1月時点）となり、昨年より増加したが、身近な地域の居場所としてはまだ不足している。            ・新型コロナウイルス感染症の影響でアルバイト等の収入が減少し、学生が生活に困窮している。         </td> <td>           ・発達障がいについて、広く一般向けだけでなく、ターゲットを絞った普及啓発を行う。発達障がい者支援対策協議会合同部会にて支援の引継ぎ方法を整理検討する。            ・信州子どもカフェの運営支援や担い手の育成等を通じて信州子どもカフェの設置を推進する。            ・新型コロナウイルス感染症の影響で生活に困窮する学生に対して緊急的に食料支援を行う。         </td> </tr> </tbody> </table>	課 題	今後の方向性	・発達障がい者の支援については、各年代を通して一貫した支援になることが必要だが、乳幼児期の当事者家族周辺の理解や世代、分野をまたぐ支援の引継ぎに課題がある。 ・信州子どもカフェは県下133か所（令和3年1月時点）となり、昨年より増加したが、身近な地域の居場所としてはまだ不足している。 ・新型コロナウイルス感染症の影響でアルバイト等の収入が減少し、学生が生活に困窮している。
課 題	今後の方向性				
・発達障がい者の支援については、各年代を通して一貫した支援になることが必要だが、乳幼児期の当事者家族周辺の理解や世代、分野をまたぐ支援の引継ぎに課題がある。 ・信州子どもカフェは県下133か所（令和3年1月時点）となり、昨年より増加したが、身近な地域の居場所としてはまだ不足している。 ・新型コロナウイルス感染症の影響でアルバイト等の収入が減少し、学生が生活に困窮している。	・発達障がいについて、広く一般向けだけでなく、ターゲットを絞った普及啓発を行う。発達障がい者支援対策協議会合同部会にて支援の引継ぎ方法を整理検討する。 ・信州子どもカフェの運営支援や担い手の育成等を通じて信州子どもカフェの設置を推進する。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で生活に困窮する学生に対して緊急的に食料支援を行う。				

## 2 令和3年度事業内容

補正予算のポイント・主な取組 (予定)	<input checked="" type="checkbox"/> <b>青少年の健全育成事業</b> ・県遊技場協同組合からの寄付金を「こどもの未来支援基金」に積み立てることによる増額 ・令和2年度国庫補助金の精算に伴う国庫返還金の計上 ・信州学生協会からの寄付金を「信州学生協会・信濃寮」大学修学等支援基金」に積み立てることによる増額 ・実績見込に伴う減額
	<input checked="" type="checkbox"/> <b>官民協働の子どもの居場所づくり推進事業</b> テクノホーム長野株式会社、国際ソロブチミスト及び信州ガレット振興会からの寄付金を「こどもの未来支援基金」に積み立てることによる増額
	<input checked="" type="checkbox"/> <b>困難を有する子ども・若者支援事業</b> 実績見込に伴う減額
	<input checked="" type="checkbox"/> <b>発達障がい者支援事業</b> ・令和2年度国庫補助金の精算に伴う国庫返還金の計上 ・実績見込に伴う減額
	<input checked="" type="checkbox"/> <b>貧困対策等の子どもの支援事業</b> 実績見込に伴う減額
	<input type="checkbox"/>

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]						事業 コスト	区分(単位:千円)	R1年度	R2年度	R3年度		
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末	R3年度目標値		予算額	前年度繰越				
1	地域における子どもの性被害防止のための研修会等の参加人数	6,756	13,063	↑	10,500			↓	当初予算	153,204	179,482	183,563
2	「信州子どもカフェ」への補助箇所数	-	41		87			↑	補正予算	-4,700	-4,532	536,458
3	子ども・若者支援地域協議会における要支援者の支援完了及び継続者の割合(%)	88	86	↓	86			→	合計(A)	148,504	174,950	720,021
4	発達障がい者サポーター養成講座の受講者数	12,834	14,883	↑	16,000			↑	うち一般財源	94,019	114,367	98,560
5	サポート校に通う生徒の通信制高校中退率(%)	-	-		5			決算額(B)	138,056	148,345		
							職員数(人)	10.0	10.0	10.0		
成果指標設定理由	①地域において自主的に開催される性教育、人権教育、青少年のインターネット適正利用の学びの場への参加者数を増やし、子どもの性被害等を防止する。 ②「信州子どもカフェ」への支援状況を評価する指標として適しているため。 ③子ども・若者支援地域協議会の運営を通して、ニートやひきこもり等の困難を抱える子ども・若者（要支援者）に対する、関係機関の効果的な連携による支援を推進する。 ④「発達障がい者サポーター養成講座」の受講者数を増やし、地域における理解者の養成を進める。 ⑤高校卒業資格取得や社会的自立を促すことを目的としているため、支援を受けた生徒の中退率を目標値としている。											

事業番号	04 07 02	事業改善シート（令和3年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	子ども・若者育成支援事業		部局	県民文化部	課・室	次世代サポート課

細事業 No.	細事業名	R1年度 最終予算	R2年度 最終予算	R3年度 予算			
				当初予算	補正予算		
1	青少年の健全育成事業	計	23,700	計	21,583	当初予算	23,164
						補正予算	528,511
						計	551,675
		千円	千円	千円	千円	千円	千円

  

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	長野県将来世代応援県民会議（青少年育成事業）補助事業	補助金	青少年健全育成運動を行う長野県将来世代応援県民会議に対し、補助金（青少年サポーター設置事業、子どもの性被害予防のための取組支援事業、青少年インターネット適正利用推進協議会事業など、子どもの性被害予防関係事業、青少年健全育成大会（50周年記念事業）を含む）を交付を行う。 補助金交付先：長野県将来世代応援県民会議
2	チャイルドライン支援事業	補助金	18歳までの子どもがかかる相談電話「チャイルドライン」の活動を支援することで、県内の子どもたちの声に寄り添える体制の強化を図る。 補助金交付先：長野県チャイルドライン推進協議会
3	青少年問題協議会開催事業	直接	子ども・若者支援に関する総合的な計画及び、子どもを性被害から守るための取組について審議する。
4	健全な社会環境づくり事業	直接	・子ども・若者育成支援推進本部による県民運動の推進や、子どもを性被害から守るための啓発物品を作成し、周知啓発を行う。 ・県遊技場協同組合からの寄付金を「こどもの未来支援基金」に積み立てる。
5	「信州学生協会・信濃寮」大学修学等支援基金積立金	直接	信州学生協会からの寄付金を「信州学生協会・信濃寮」大学修学等支援基金に積み立てる。

細事業 No.	細事業名	R1年度 最終予算	R2年度 最終予算	R3年度 予算			
				当初予算	補正予算		
2	官民協働の子どもの居場所づくり推進事業	計	3,260	計	5,200	当初予算	10,110
						補正予算	23,060
						計	33,170
		千円	千円	千円	千円	千円	千円

  

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	信州子どもカフェの推進	補助金	・信州子どもカフェの運営費（食材費・新型コロナウイルス感染症の影響によるかかり増し経費等）を支援 ・テクノホーム長野株式会社、国際ソロプチミスト及び信州ガレット振興会からの寄付金を「こどもの未来支援基金」に積み立てる。
2	学生向け緊急食料配布事業	直接	営業時間短縮要請等によりアルバイト等が制限され、生活に困窮する県内大学生等を支援するため、大学等を通じて食料品を配布

細事業 No.	細事業名	R1年度 最終予算	R2年度 最終予算	R3年度 予算			
				当初予算	補正予算		
3	困難を有する子ども・若者支援事業	計	47,944	計	46,610	当初予算	51,995
						補正予算	-1,949
						計	50,046
		千円	千円	千円	千円	千円	千円

  

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	子ども・若者支援地域協議会事業	委託	社会生活上の困難を有する子ども・若者への支援を円滑に行うために、子ども・若者育成支援推進法に基づく地域協議会を運営を行う。
2	困難を有する子ども・若者の専門的な自立支援の場応援事業	補助金	社会生活上の困難を有する子ども・若者に対して専門的な自立支援の場を提供する団体を助成することで、県内の子ども・若者支援体制の強化を図る。
3	発達障がいのある子ども・若者の教育相談支援事業	委託	発達障がいなど認知特性に偏りが見られる児童生徒を対象とした教育相談の支援を行う。 委託先：(特非)翔和学園
4	不登校児童生徒の学校以外の「まなびの場」支援事業	補助金	不登校児童生徒が利用する学校以外の「まなびの場」の充実のための助成を行う。
5	生活困窮者就労準備支援事業国庫返還金	直接	令和2年度国庫補助金の精算に伴う返還を行う。

事業番号	04 07 02	事業改善シート(令和3年度実施事業分)	<input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検		
事業名	子ども・若者育成支援事業	部局	県民文化部	課・室	次世代サポート課

細事業 No.	細事業名	R1年度 最終予算		R2年度 最終予算		R3年度 予算	
		計	千円	計	千円	計	千円
4	発達障がい者支援事業					当初予算	77,694
						補正予算	-1,120
		計	73,600	計	78,457	計	76,574
			千円		千円		千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	発達障がい者支援センター事業	直接	発達障がいサポート・マネージャーや発達障がいペアレント・メンターの養成研修に加え支援者向けの各種研修の開催等を行う。
2	長野県発達障がいサポート・マネージャー配置事業	委託	10圏域に発達障がいサポート・マネージャーを配置し、一貫した支援を提供する。
3	市町村発達障がい者支援体制強化事業	委託	10圏域12名の市町村サポート・コーチが、年代や分野を超えて支援者が情報を共有するツールの普及を図る。
4	地域生活支援事業費等補助金国庫返還金	直接	令和2年度国庫補助金の精算に伴う返還を行う。

細事業 No.	細事業名	R1年度 最終予算		R2年度 最終予算		R3年度 予算	
		計	千円	計	千円	計	千円
5	貧困対策等の子ども支援事業					当初予算	20,600
						補正予算	-12,044
		計	0	計	23,100	計	8,556
			千円		千円		千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	通信制高校サポート校等就学支援事業	補助金	通信制高校と連携する教育施設へ通う低所得世帯の学生への支援